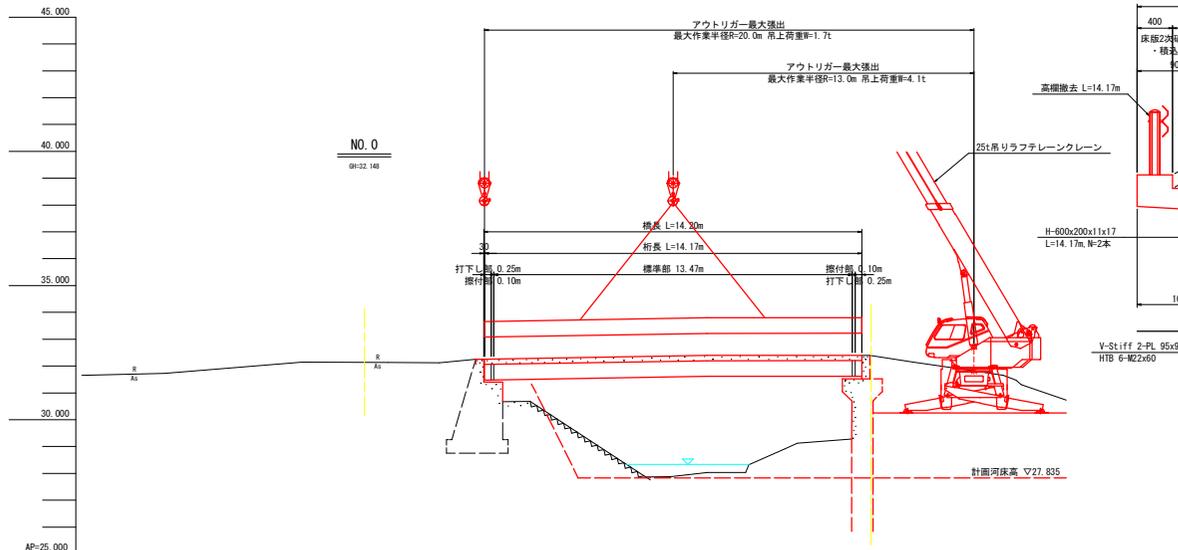
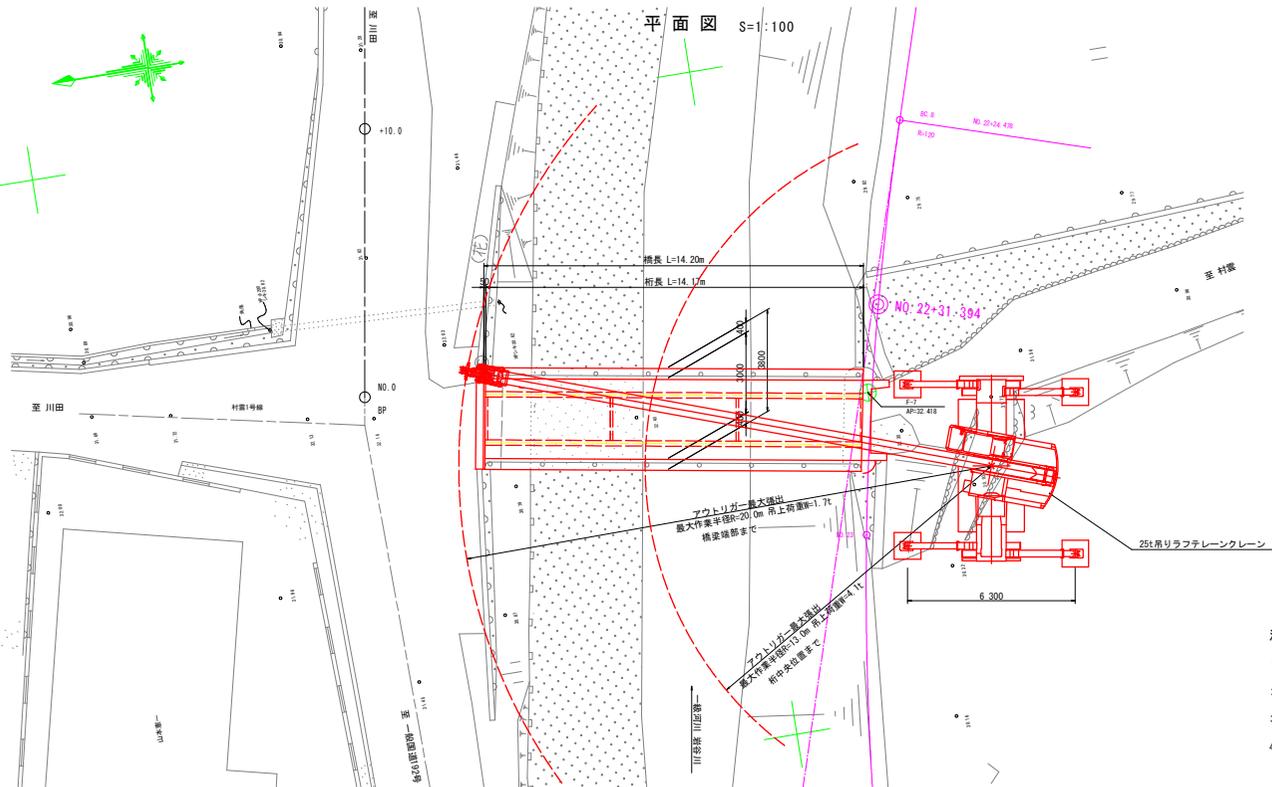


既設橋梁撤去要領図(1/2)

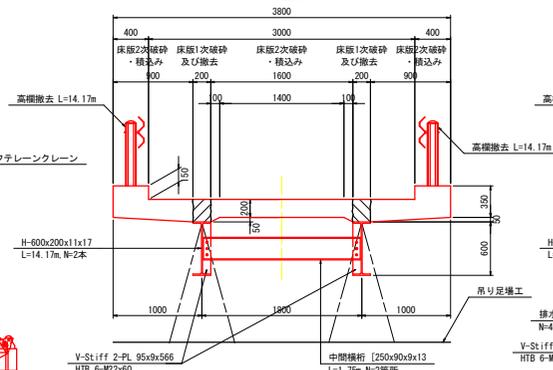
側面図 S=1:100



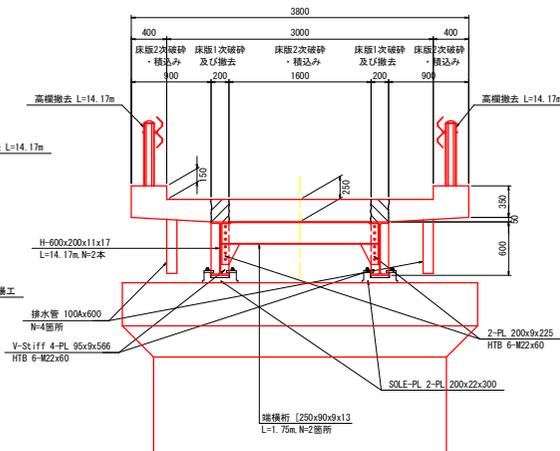
平面図 S=1:100



中間横桁部
N=2箇所



断面図 S=1:30



上部工撤去手順(案)

- 足場工設置
- 高欄撤去
- 床版1次破砕及び撤去
- 床版2次破砕・積込み
- 足場工撤去
- 桁1次切断・撤去
- 桁2次切断・積込み

25t吊圧式ラフテレーンクレーン (TR-250M) 単位:t

作業半径 (m)	ブーム長さ (m)			
	9.34	16.26	23.18	30.12
2.5				
3.0	25.0			
3.5	25.0			
4.0	23.0			
4.5	21.2	18.0		
5.0	19.4	16.7	12.5	
5.5	17.8	15.5	11.7	
6.0	16.3	14.4	11.0	
6.5	15.1	13.4	10.4	
7.0		12.5	9.8	7.0
8.0		10.5	8.7	6.7
9.0		8.4	7.7	6.1
10.0		6.9	6.9	5.6
11.0		5.7	5.7	5.1
12.0		4.8	4.8	4.7
13.0			4.1	4.1
14.0			3.5	3.5
15.0			3.0	3.0
16.0			3.0	3.0
17.0			2.6	2.6
18.0			2.2	2.2
19.0			2.0	2.0
20.0				1.7
22.0				1.5
24.0				1.1

撤去部材重量

- 高欄 W=0.5t
- コンクリート床版 1次 W=1.42×2.5=3.6t
2次 W=12.08×2.5=30.2t (注4参照)
- 桁等鋼材 W=3.5t (注4参照)

注1) 定格荷重表は吊り具とフック質量 (主巻:260kg、12トンフック:170kg、補巻:60kg(合計=490kg))を含んだ値とする。

吊り上げ総重量 W=3.5t(主桁等鋼材)+0.49t(フック等重量)=4.0t

注意事項

- 撤去前に再度搬入方向および重機設置位置を確認すること。
- クレーン車のアウトリガー部は路盤を十分に転圧し、鉄板等を敷いて沈下しないよう対処する。
- 下部工構造図は、当初設計資料がなく、構造寸法は不明である。このため、現地で床掘り後に適切な撤去計画を提案する。
- 床版2次破砕および桁切断のブロック割は、クレーン能力(作業半径および重量)を考慮して、安全に作業を実施すること。

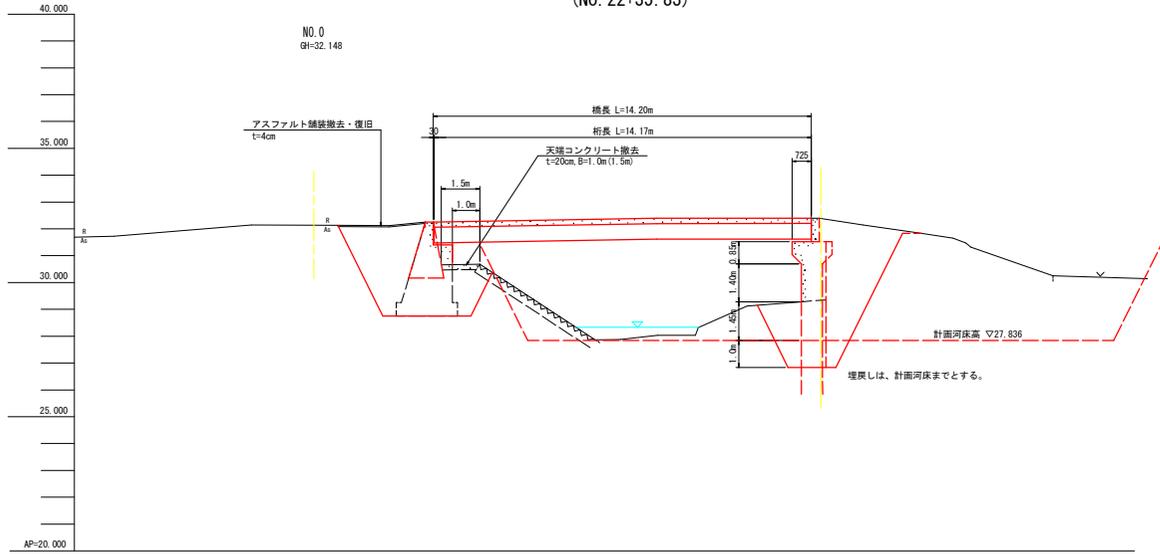
参考図

橋梁設計	R7吉土 岩谷川 吉・山川村案
工事名	河川工事(1) (担い手確保型)
路線名等	岩谷川
工事箇所	吉野川市山川町村案 (第1分割)
図面名	既設橋梁撤去要領図(1/2)
縮尺	図示 図面番号 1/2
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 吉野川庁舎

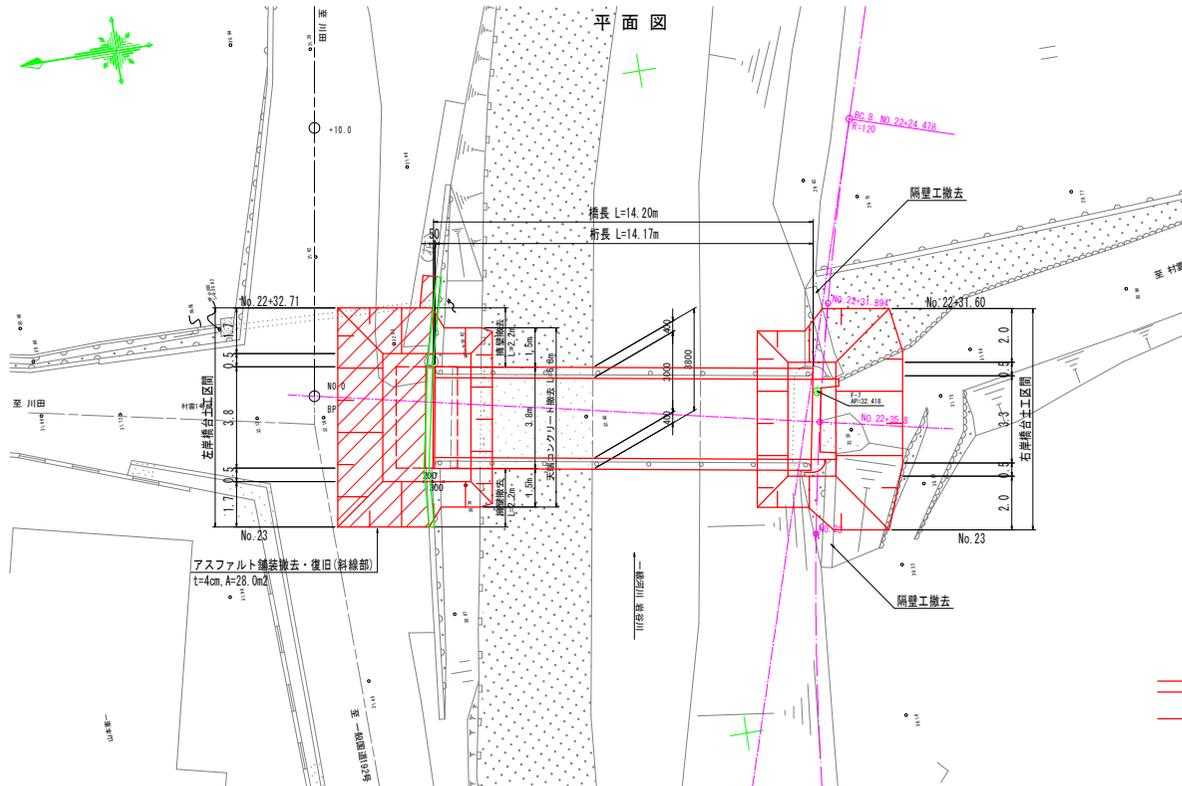
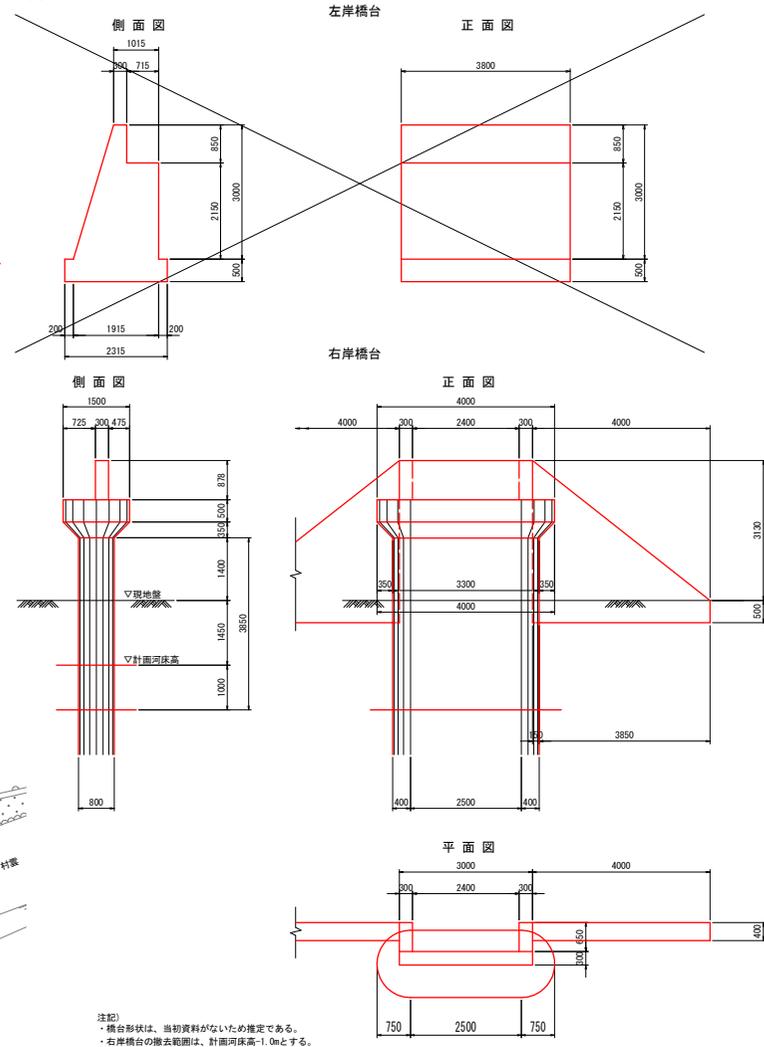
既設橋梁撤去要領図(2/2)

S=1:100

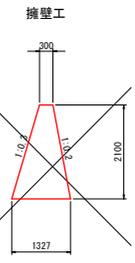
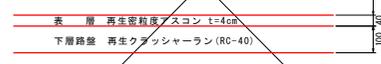
側面図
(No. 22+35.83)



撤去構造物詳細図 S=1:60



舗装復旧図
S=1:10



参考図

橋梁設計	R7吉土 岩谷川 吉・山川村案
工事名	河川工事(1) (担い手確保型)
路線名等	岩谷川
工事箇所	吉野川市山川町村案 (第1分割)
図面名	既設橋梁撤去要領図(2/2)
縮尺	図示 図面番号 2 / 2
会社名	
事業者名	徳島県東部環土整備局 吉野川庁舎